

地域発展への功績たたえ

平成26年度つがる市表彰式



地方自治の発展や社会福祉の向上に貢献した方の功績をたたえる「平成26年度つがる市表彰式」が10月30日、生涯学習交流センター「松の館」で行われました。

今年度の受賞者は褒賞1人、功労賞12人で、長年にわたり消防団員や行政連絡員などとして地域に貢献された方々です。式典では福島市長が受賞者一人一人に表彰状と記念品を手渡し「心からお祝い申し上げます。これまで培った豊かな経験と英知をもとに、幸せに暮らせるまちづくりのため、なお一層のご指導をお願いします」とあいさつ。受賞者を代表して稲垣町の尾野一文さんが「栄えある賞をいただき身に余る光栄です。今回の栄誉を励みとし、つがる市の魅力あるまちづくり実現の一助となりますよう、協力してまいります」と謝辞を述べました。

褒賞

市民または市に縁故の深い人で、福祉、勤業、地方自治、教育、文化などの各分野において市の発展に寄与し、功績が特に卓越し、顕著であった人に贈られます。



尾野 一文 氏

(63歳・稲垣町繁田)

昭和48年7月から平成25年4月まで稲垣村消防団員およびつがる市消防団員として39年の永きにわたり地域住民の生命財産の保護に努め、消防行政の推進に貢献した。



功労賞

市民または市に縁故の深い人で、福祉、勤業、地方自治、教育、文化などの各分野において市の発展に寄与し、優れた功績のあった人に贈られます。



須藤 茂 氏

(74歳・木造土滝)

平成6年4月から平成26年3月まで木造町行政連絡員およびつがる市行政連絡員として20年にわたり在職し、行政連絡業務に精励し行政運営に貢献した。



江良 金光 氏

(57歳・稲垣町吉出)

昭和52年7月から平成26年1月まで稲垣村消防団員およびつがる市消防団員として36年にわたり在職し、地域住民の生命財産の保護に努め、消防行政の推進に貢献した。

功 勞 賞

【前ページ続き】



長内 松雄 氏

(72歳・下車力町)

平成元年10月から平成26年3月まで木造地区交通指導隊車力村交通指導隊員およびつがる地区交通指導隊車力交通指導隊員として24年にわたり在職し、交通安全思想の普及高揚に努め交通事故の抑止に貢献した。



對馬 謙一 氏

(61歳・木造赤根)

平成2年4月から平成25年3月まで木造地区交通指導隊木造町交通指導隊員およびつがる地区交通指導隊木造交通指導隊員として23年にわたり在職し、交通安全思想の普及高揚に努め交通事故の抑止に貢献した。



吉田 幸一 氏

(64歳・木造越水)

平成5年9月から平成26年3月まで木造地区交通安全協会越水支部長およびつがる地区交通安全協会越水支部長として20年にわたり在職し、地域の交通事故防止活動、交通安全の推進に貢献した。



佐々木一郎 氏

(79歳・牛瀨町)

昭和61年12月から平成25年11月まで車力村民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として27年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



江良きみゑ 氏

(66歳・牛瀨町)

平成元年12月から平成25年11月まで車力村民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として24年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



澁谷 昌一 氏

(72歳・木造善積)

平成4年12月から平成25年11月まで木造町民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として21年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



蝦名 慶一 氏

(76歳・下車力町)

平成4年12月から平成25年11月まで車力村民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として21年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



石川 一美 氏

(62歳・木造菊川)

平成6年1月から平成25年11月まで木造町民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として19年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



盛 亮 氏

(82歳・森田町下相野)

平成7年8月から平成25年11月まで森田村民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として18年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



工藤 ヌイ 氏

(66歳・稲垣町吉出)

平成8年11月から平成25年11月まで稲垣村民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として17年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。

51年の伝統胸に未来へ進む

稲垣西小
閉校式



思い出を振り返り、校歌を斉唱する児童

来年4月に稲垣小学校と統合するため、本年度限りで閉校となる稲垣西小学校（佐々木真校長）で11月15日、閉校式が行われ、在校生をはじめ、保護者や地域住民、卒業生ら約250人が出席し、51年の歴史ある学校との別れを惜しみました。

同校は昭和39年に旧稲垣村の沼崎小学校と千年小学校が統合して創立。昨年度末までに1761人の卒業生を送り出しています。

式典で福島市長は「本校の歴史は、つがる市の歴史に深く刻み込まれ、稲垣小学校に受け継がれます。稲垣西小学校の出身であることを誇りとし、より一層勉学に励んでください」とあいさつ。歴代の校長やPTA会長、学校医などの特別功労者ら44人に感謝状を贈りました。

57人の全校児童は、呼び掛け形式で運動会や学習発表会などの思い出を振り返り、地域への思いを込め「ふるさと」を合唱。最後に参加者全員で校歌を斉唱し、地域に根差した長年の伝統を深く胸に刻みました。

稲垣西小学校沿革史

S39. 1. 24	稲垣村議会で沼崎小学校と千年小学校の統合を議決
S39. 4. 1	2校舎に分かれたまま統合小として授業開始
S40. 1. 28	校章制定
S41. 9. 12	統合新校舎にて授業開始
S42. 6. 17	全工事（プール含む）竣工落成式
S45. 3. 16	西小交通安全母の会結成大会
S46. 6. 23	校旗樹立式
S53. 7. 21	校舎改築工事終了
S57. 7. 20	相撲土俵完成
S58. 9. 24	創立20周年記念式典
H元. 5. 31	村制100周年記念式典連合運動会
H3. 7. 2	新プール落成
H4. 10. 17	新校舎落成記念式典
H9. 5. 20	緑の少年団結団式と記念植樹
H17. 2. 11	町村合併により「つがる市立稲垣西小学校」となる
H26. 4. 23	読書活動推進で文部科学大臣表彰受賞
H26. 11. 15	閉校式



参加者コメント



佐々木 真
校長

豊かな自然と歴史の中を歩み続けてきた稲垣西小学校は51年の歴史を閉じようとしています。この地域や本校を知る者にとっては切なく、寂しい気持ちでいっぱいです。

昭和39年の開校以来、本校の歴史と伝統を支えてくださったPTAや地域の皆さまのご理解と惜しみないご支援に感謝の気持ちを忘れることはできません。また、歴代校長先生をはじめとする教職員の教育活動や子どもたちの

素晴らしい活動もありました。閉校にあたる今年度に読書推進活動で文部科学大臣表彰を受けたことはこの上ない喜びです。

今年度は感謝の気持ちを持って、思い出に残る一年にしようとい児童の皆さんが頑張ってくれました。運動会や学習発表会など全校が一丸となって感動的な時を演出し、大変素晴らしいかったです。児童の皆さんは、校歌にあるとおり西小学生として「明るく伸びる」「楽しくはげむ」「仲よく進む」の言葉を忘れずに自分の夢に向かって前向きに進んでください。

保護者や地域の皆さまも子どもたちがこれまで同様、明るく楽しい学校生活を送り、健やかに成長出来るよう励ましてください。よろしくお願いたします。

小山内忠文さん(現PTA会長)

ここは、自分や子どもたち、近所の親戚みんなが学んだ、とてもなじみ深い学校。20周年として、さまざまな記念事業を行っていた中、日本海中部地震が起こった4年生の時が一番記憶に残っています。

山本 千尋さん(稲垣中3年)

校舎を見渡せば、いろんな記憶がよみがえります。思い出が詰まったこの学校が無くなるのは寂しい。

岡本 幸治さん(倉の会代表 特別功労者)

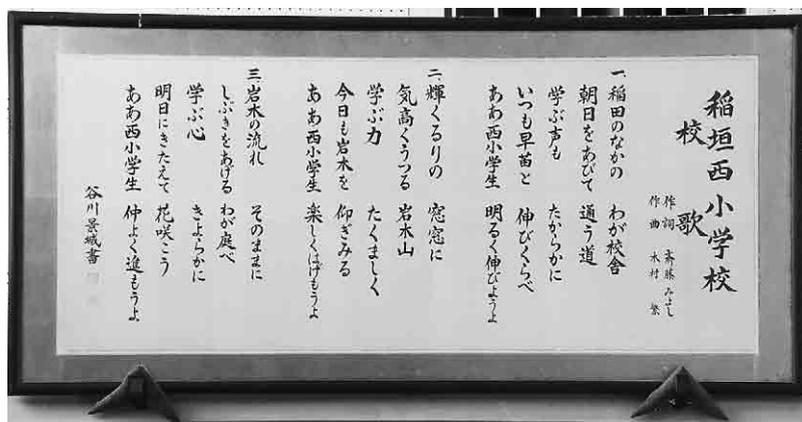
子どもたちに生の楽器の音を楽しんでもらおうと平成9年からコンサートを実施。児童の反応や感想が楽しみで、ずっと続けてきました。参観日に合わせて開催した時もあり、思い入れはとて大きいものがあります。

工藤 誉生君(稲垣西小4年)

西小が無くなるのは寂しいけど、新しい稲垣小学校へ行っても勉強を頑張ります。



歴代の校長らに感謝状贈呈



約半世紀にわたり歌い継がれてきた校歌



51年の歴史に幕を閉じる稲垣西小学校